

賛助団体の紹介



順不同 21 団体

☆ 小規模多機能型居宅介護 玲音	☆ 湯布院調剤薬局
☆ 医療法人 慈愛会 岩男病院	☆ ゆずの木クリニック
☆ (有) ウェルケア	☆ 社会福祉法人 真わ会 特別養護老人ホーム 白心荘
☆ (株) TONERIKO	☆ 社会福祉法人 豊寿会 豊友館
☆ 医療法人人昭会 おざきホームケアクリニック	☆ 社会福祉法人 若山会 特別養護老人ホーム 若葉苑
☆ 医療法人相生会 ごとう医院	☆ (有) 後藤企画
☆ 医療法人福寿会 日野病院	☆ (株) アナザーウェイ
☆ (有) フンゴヤエンタープライズ	☆ 社会福祉法人 清風会 特別養護老人ホーム 温水園
☆ 医療法人至誠会 介護老人保健施設 健寿荘	☆ 何松内科循環器科
☆ 医療法人大分厚生会 川崎内科	☆ (株) みんなの家
☆ 医療法人 照臨会 佐藤医院	

高齢者を狙った詐欺に注意！！

新型コロナウイルスの感染拡大や震災等の災害に便乗して、詐欺被害が増加しています。便乗詐欺に対する相談が全国の消費生活センターに一万件以上寄せられているとのことです。

高齢者を狙った特殊詐欺については8年連続の**300億円**を超えとなっており、1日あたり**8000万円**以上がだまし取られているようです。その中でも深刻な被害にあっているのは65歳以上の女性であり、全体の65%に達しています。特に親族を狙ったオレオレ詐欺では80歳前後に被害が多発しております。

手口の内訳ではオレオレ詐欺、架空詐欺請求、融資保証金詐欺は減少傾向にありますが、医療費や税金の還付を装う「還付金詐欺」は増加傾向にあるようです。

由布市でも実際に昨年度**600万円**の被害が出ています。

この数字については騙されているにもかかわらずその認識がない高齢者、または周りの目を気にして詐欺被害にあっているが、報告をしていない方も多数いるとおもわれ、氷山の一角に過ぎないのかも知れません。我々ケアマネジメントにあたる職種は被害がおこってから対応はほとんどできませんが、普段からの注意喚起や早めの情報共有を行って、被害も未然に防いでいきたいですね。

また、由布市の消費者生活センターや包括支援センターにも相談することができますので、ご利用いただきたいと思います。



由布市 介護支援専門員協会だより

令和2年10月作成
第8号 狹霧台

～総会の報告～

令和2年6月19日(金) 由布市社会福祉協議会庄内事務所 (ほのぼの市民交流室)にて令和2年度通常総会を開催いたしました。今年度の総会はコロナ禍の中での開催となり、各事業所より1名の参加をお願いし、少人数で行うことに致しました。委任状をいただくことで正会員の過半数を超えることができ、皆さまのご協力があり無事総会を開催することができました。議事は第1号議案から第6号議案まで審議され、第5号議案「令和2年度事業計画」において、研修や役員会のWEB開催、ホームページを利用した広報活動、県協会や各関係機関との連携活動についてご承認いただきました。今年度の(日本・県・市協会)に加入している正会員は64名、由布市のみ加入する賛助個人会員は17名でした。

私達の声をより一層伝えていくためにも三団体加入が増え職能団体として力をつける必要があります。どうぞ今後とも入会ならびに運営への御協力を宜しくお願い申し上げます。なお、この総会にあたり議長を務めていただきました、ごとう介護保険サービスセンター 由布和代様には突然の依頼にもかかわらず快諾していただき厚く御礼申し上げます。

～健康応援団派遣事業～



由布市が実施している健康応援団派遣事業に今年度から由布市介護支援専門員協会から主任介護支援専門員を地域の「お茶の間サロン」等に派遣することとなりました。コロナ問題があり、スタートから出遅れることとなりましたが、7月に初回の派遣を行うことができました。

今年度、主任介護支援専門員の方々にお話しいただく内容は「介護保険制度の正しい理解(利用)について」と題し、介護保険はどのような状態になったら利用できるのか?どのようなサービスがあるのか?困ったらどこに相談すればいいのか?などの質問に答えております。

既に会長、副会長、事務長を派遣し、講話を行いました。想像していたより、介護保険やケアマネジャーのことが浸透していないのを感じております。しかし、地域住民の素朴な疑問に真摯に答えることで、地域の人々の活動を肌で感じる事ができる良い機会でした。現在、主任介護支援専門員資格をお持ちの当協会正会員であれば、派遣名簿に載せてこの健康応援団にご参加いただくことができます。要介護状態になる前の方の気持ちや考えをストレートに知ることができる場所であると感じています。ぜひぜひ、ご検討ください。

7月豪雨災害への対応

令和2年7月の豪雨災害支援として、「この度の災害に対し、心よりお見舞い申し上げます」とのメッセージを添え、由布市介護支援専門員協会より、災害支援物資としてマスク、消毒液等を由布市と日田市へ送らせて頂きました。

由布市においては挾間町黒川や湯布院町花合野川の氾濫がありました。国道210号線の湯布院川西付近において陥没があり全面通行止めでしたが、現在片側交互通行となっております。また、庄内町新竜橋、挾間町同尻橋は大きな被害をうけ通行止めとなっております。その他にも山間部において土砂崩れや落石が起こっている場所が多数みられており、今後も注意が必要な状態となっております。ケアマネの皆さんも河川付近や山間部等の道路を通行される際は十分な注意をして運転してください。



由布市介護支援専門員協会では、今年に入ってからコロナウイルスの問題で研修や会合などが軒並み中止や延期になったことを受け、WEBを利用した会議や研修を進めていくこととなりました。先日、ZOOMの有料アカウントを購入し体制整備を行うとともに事例検討会について、困難事例等の検討を遠隔で行うことを計画しております。まったく新しい取り組みになりますが、これからのケアマネジメントを考えるうえで重要なことと位置付け、皆様のご協力をいただきながら、ICT化を進めていきたいと思っております。



由布市介護支援専門員協会事務局

お問い合わせ 電話：097-583-5566
(ごとう介護サービスセンター内)

由布市介護支援専門員協会広報部発行

～文系でも理解できる！ Hyde博士のLaboCollages～

パーキンソン病とは？

私たちが体を動かそうとすると、脳の「大脳皮質」から全身の筋肉に、運動の指令が伝わります。このとき、私たちの意図どおりに体が動くように、運動の調節を指令しているのが神経伝達物質の「ドパミン」です。ドパミンは、脳の奥の「黒質」にある「ドパミン神経」で作られています。パーキンソン病になると、このドパミン神経が減少し、ドパミンが十分につくられなくなります。その結果運動の調節がうまくいかなくなり、体の動きに障害があらわれるのです。

主な症状)

① 無動 (むどう)



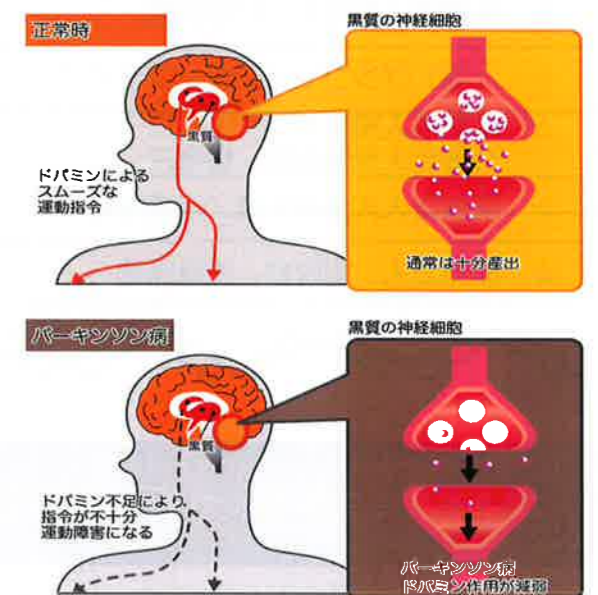
② 筋強剛 (きんきょうこう)



③ 静止時振戦 (せいじしんせん)



④ 姿勢反射障害 (しせいはんしゃしょうがい)



自律神経症状 便秘や頻尿、起立性低血圧 (立ちくらみ) ・ 食事性低血圧 (食後のめまいや失神)、発汗、むくみ、冷え、性機能障害

主な治療) ドパミン系薬剤

① L-ドパ

パーキンソン病治療の中心となる薬剤です。パーキンソン病の患者さんは、不足している脳内のドパミンを補えば元のように動けるようになります。

② ドパミンアゴニスト

ドパミン受容体作動薬ともいい、ドパミンに似た作用を持つ物質で、脳内でドパミンと同じようにドパミン受容体に結合し効果を発揮します。L-ドパと比較して作用時間が長く血中濃度が安定するため、ウェアリングオフやジスキネジアを生じにくい。徐放剤や貼付剤もあり、より安定した効果が期待できるようになっています。また、他の治療薬の効果が切れ、急にウェアリングオフが出現し動けなくなった緊急時に使用する自己注射製剤もでています。

*ウェアリングオフ・・・薬の効果が薄れ治療前の状態にもどってしまうこと。

*ジスキネジア・・・手足や肩等がくねくね動く、口がもぐもぐ動くなど、自分の意志とは関係なく、体が勝手に動いてしまう症状 (不随意運動)

*徐放剤・・・徐々に薬物が放出されるように設計した製剤のこと。薬が徐々に放出されることで血中の有効成分を長期間一定に保つことができる。